

大阪・京都教区報

つ の ぶ え

発行責任者 久敬
主 教 磯 高 地
主 教 大阪教区事務所
06-6621-2179
京都教区教務所
075-431-7204
通算号数
大阪491号、京都751号

聖書研究会！、イエスさまなら

司祭 ヨシユア 原 田 光 雄

福音書には主イエスご自身が当時の聖書、(キリスト教の立場で素朴に言い換えれば)旧約聖書を解き明かされている場面がいくつも登場します。ルカ10章25節以下「善いサマリア人」の記事。律法の専門家がイエスを試そうと、何をしたら永遠の命を受け継ぐことができるか、尋ねました。それに対しイエスはまず反問し、①律法(聖書)には何と書いてあるか。②あなたはそれをどう読んでいますか。律法の専門家は①について聖書を引用し、すべてを尽くして神を愛し、自分を愛するように隣人を愛することである旨、応えました。イエスは「正しい答えだ。それを実行しなさい」。それに対し、彼は「自分を正当化しようと

して、『では、わたしの隣人とは誰ですか』と言い返しました。この質問に対して語られたのが「善いサマリア人」の譬えであり、②の問いかけの内実です。

「何と書いてあるか」は知識があれば分かること、律法の専門家はイエスと一致し



た。ところが、「それをどう読んでいるか」については、両者はまったく違いました。「神を愛し、隣人を愛しなさい」とのみ言葉を受け律法の専門家の中では、愛すべき「わ

と書いてあるかは重要ですが、それだけでは律法の専門家のように、文字面に触れるに留まったり、原理主義に陥ったりしてしまいます。②あなたはそれをどう読んでい

ました。愛する対象を選別せず、中心に「追いはぎに襲われた人」を置いて、その人の隣人に自身がなる、という実践を大切にされたのです。

①聖書に何

(聖ルシア教会牧師、
聖ルカ教会管理牧師)



10月号の紙面

京都教区信徒の集い・・・・・・・・・・
聖公会生野センター30周年記念セミナー・・・・・・・・
OK委員会／主教コラム・・・・・・・・・・
常置委員会／局長会議報告・・・・・・・・
教会紹介／諸記念／主教巡回予定・・・・・・・・
⑥ ⑤ ④ ③ ②

るか。これは今日も、主イエスご自身から私たちへの問いかけです。私たちはそれに応えなければならず、また「私の理解(解釈)」として応えることができます。

その理解を教会の交わりの中で分かち合うことにより、聖書の言葉や文脈について、紆余曲折があっても、「イエスの理解や真意」に近づいていきます。旧約・新約の聖書の読み方をイエスご自身から学ぶ姿勢を大切にしたいのです。それは、み言葉について「(間違っているかも知れないけれど)私はこう思う」と、大胆に言い表わすところから始まります。

「かみさまとわたし」

7月号の「信仰の広がり」という言葉がとても素敵に心に響きました。

今年6月に父が他界しました。3年前に癌が見つかり、療養する父と母に寄り添い、見守る時間が持てたことに感謝します。今こそ神様に繋がり、願いを通して真理を受取るよう祈り、考えずにはいられない日々でした。寿命とは、言わがれた命、与えられた時間の事でしょうか。長さ、濃さ、色、香り、響き……神様が父の為に用意したご計画を私が受け止め、感じ取るよう、信じる事が出来るよう祈りました。

己の身をささげ、最後の命がけの子育てをしてくれた父の愛、父の為にあなたかな時間を用意してくれた神様の御業を感じ、信頼することが出来る旅立ちでした。

パートナーと家族、教会の皆様を支えと見守りを得て、これからも揺らいでゆく心の中で何度でも出会う神様との語らいを楽しみに過ごしていきたいと思っています。

(石橋聖トマス教会)

名生 貴子

京都教区・信徒の集い(和歌山伝道区)

皆さん手に取って
見ていただけましたか？

ください。

第61回 日本聖公会京都教区 信徒の集いーオンラインで会いましょうーを9月19日午後1時30分より開催させていただきました。事前にレジュメと一緒に郵送させていただいた、田辺聖公会礼拝堂の写真！ 司会の木川田道子さんも紹介していましたが、木の香りのするこれぞ『シンブル イズ ベスト』と言える教会です。和歌山伝道区は、北は岸和田復活教会から南は新宮聖公会と南北に長く、伝道区会等の集まりを開く際にはその真ん中あたりに位置する田辺で行うのを常としているため、2020年に新築されたばかりですが、私個人は何度もお邪魔させてもらっています。奥にあるブルーの大きな十字天井は明り取り窓(写真ではわかりづらいですが)、左側面前方下部に小窓が一つ、本当に気持ちよくシンプルです。皆さんも機会がありましたら是非お立ち寄り



さて、初めての試みとしてオンラインで信徒の集いを行いました。今回、私は実行委員長というお役はいただきませんが、準備に関しては何もお手伝いせずに、全て田辺聖公会の信徒の皆さん、奥村貴充司祭様(田辺)、鈴木恵一司祭様(伝道区長)に任せっぱなしのまま当日を初島聖十字教会で迎えました。3台のパソコンを使って12人(信徒6人・幼稚園6人)で参加し

ましたが、1時までにはズームにもつながり、私の下手な挨拶も済み、ほっとしていたところへ仕事の電話、参加者の紹介と桑野亜佐子さんの講演の冒頭部分を見逃しました。が、講演を聞き始めて、「やっぱり南海トラフ地震は起こるんだ」「東日本大震災の震源断層は3分もかけて滑っていたんだ」などとお気楽に聞いていたのですが、【ここでちよつと初島聖十字教会の現在のありようを説明させてください。土地は公有地であり宗教法人では借りられないため、設立当初より保育施設が併設されていきました。初島幼稚園の舞台正面に祭壇があります。なので「教会の幼稚園」というより「幼稚園の教会」といった風情です。今は埋め立てられたため園から海は見えませんが、私が幼稚園に通っていた頃は裏庭から裸足で海に行きました。と言うことで震災と聞いて最初に思い浮かぶのは津波です。閑話休題】「屋外に逃げ出す時点で10分近くが経過」これじゃ山まで逃げるのに30分近くかかってしまう。「けがをしていては逃げることもできない

い」とのお話を聞くに及んで、真剣真剣、頭の中は幼稚園の様子でいっぱい。ピアノは重すぎて固定できない、テーブル・棚・イスは毎日動かすからこれも完全にはできない、天井には蛍光灯がずらり、避難訓練は様々な場面を想定して月1回してくれているけれど、逃げる場所を確定していない、保護者への連絡、モバイルバッテリー、トイレ、どうする？どうする？と思っているうちに講演終了。トイレ休憩に入ったところで、あれはこうしておこう、ここはこうしよう、幼稚園教職員は大盛り上がり：なんとその間にズームが3台とも切れてしまったのです。何が原因だったのか今も不明なのですが、再接続をするもまた切れてしまうの繰り返しで、第2部『教会と災害』について考える」は、秋山みどりさん(九州教区熊本聖三一教会信徒)のお話の一部と聖光おひさまプロジェクトの一部を視聴したのみです。そういうわけで第2部に関わってくださった皆様申し訳ございません、感想は控えさせていただきます、ありがとうございます。

また第1部で講演してくださった桑野さん、私たちにたくさん知識と気付きを与えてくださり「感謝」です。週が明けた21日、22日ともに幼稚園の先生方の口からは、あそこはどうしよう、ここはこれでいいだろうかとの言葉が聞こえてきます。本当にありがとうございます。

ということで、私の今回の信徒の集いの感想は、講演はオンラインで十分満足できるなあ、でもお祈りは参加しているみんなの声が聞こえないのでさみしいなあ、そしてやっぱりみんなで集まっていた雑談、食事が無いのは集いと云えるのだろうか？ 実行委員長という立場にありながら、また今回はこの形ではできなかったと理解しながらも思ってしまうのが正直なところです。

今回の信徒の集いの担当は三重伝道区さんです。コロナの状況次第ではありますが、みんなが一堂に会してわいわいできることを希望しながら、筆をおかせていただきます。

(初島聖十字教会 上田康介)

聖公会生野センター 30周年記念講演会

1992年に多くの人々の熱い祈りにより建てられた聖公会生野センターは来年30周年を迎えます。

30周年を記念して、聖公会生野センターでは共同代表に磯崎久主(大阪教区・聖公会生野センター理事長)、植松誠主(北海道教区・前首座主教・初代聖公会生野センター運営委員長)、武藤謙一主(九州教区・現首座主教)、李京浩主(ソウル教区・大韓聖公会議長主教)に就任していただき、全国的に30周年の取り組みを行うことになっていきます。9月27日現在、27名の実行委員会ですの準備がなされています。

実行委員会では30年を経て、聖公会生野センターの意義を再度学ぶことが大切であるとして「連続セミナー」を実施することになりました。

聖公会生野センターの開設は、苦難の歴史にあった聖ガブリエル教会の復興と共にその準備が進められました。聖ガブリエル教会は戦前在日朝鮮人への宣教を目指して故

張準相師が始められます。そこには植民地の中で日本に渡航してきた同胞のためにキリストの愛を伝えるという、何物も変えられないものでありました。

第1回はその歴史に詳しい井田泉司(京都教区・退職)にお願いして9月24日に「戦前の日韓教会交流について」聖ガブリエル教会の創立者張準相師の足跡を中心に「と題してオンライン配信で実施しました。聖公会生野センターの母教会である聖ガブリエル教会の苦難はすなわち現在につながる在日の苦難の歴史そのものであります。

1919年、平和的に朝鮮の独立を求めた「三一独立運動」、23年の「関東大震災の朝鮮人虐殺の経験」を通して張師は日本での召命を受け、当時の福岡神学校にて学びます。1925年に宣教を開始して、現在の生野区に桃谷講義所を開き聖ガブリエル教会になっていきました。しかし41年の太平洋戦争で張師は生野警察により逮捕、拘束そして半年にわたる拷問を受け釈放後も教会活動を禁止されます。まさに戦争により教会ま

で奪われるという迫害を受けなければなりません。詳しくはYouTubeをご覧ください。



戦後も教会活動は苦難の道の中にありました。張師は解放後(日本敗戦後)、在日同胞の民族教育事業に携わり、1954年に自宅を開放して教会活動を再開し、1956年に司祭按手を受けます。なんと執事按手から18年後でした。1966年に天に帰られるまで司祭としての働きは10年という短い期間でした。その後家族が礼拝を守りながら、聖ガブリエル教会の灯火は小さくとも絶えることはなかったのです。張師の信仰を家族の方々が命をかけて守ってこられたのです。

連続セミナーのご案内

主の名を賛美します。

新たな宣教の拠点として建てられた聖公会生野センターが2022年に30周年を迎えます。これを機に日韓聖公会の歴史や聖公会生野センターの設立、その働きを学ぶことになりました。

多くの方の参加をお願いします。

第1回 9月24日(金) 午後7時~8時30分

【戦前の日韓教会交流について】

講師：司祭 井田泉(京都教区・退職)

第2回 11月26日(金) 午後7時~8時30分

【生野地域の教会の働きから振り返る=エキュメニカル運動と聖公会】

講師：牧師 李清一(イチョンイル 在日大韓基督教 KCC会館名誉館長)

第3回 2022年1月28日(金) 午後7時~8時30分

【聖公会生野センター活動初期(1992年)を振り返る】

講師：司祭 宮嶋真(京都教区・退職)

第4回 2022年3月18日(金) 午後7時~8時30分

【日韓聖公会正式交流から見てきたもの=出会い、懐郷、和解、協働】

講師：司祭 前田良彦(東京教区・退職)

*会場はすべて大阪聖愛教会(オンラインでも配信)です。新型コロナウイルスの感染状況によってはオンラインのみの配信もありえます。

〒543-0052 大阪府大阪市天王寺区大道3丁目3-20 TEL06-6771-4123

【申し込み方法】

① google フォームから申し込み(右のQRコードからも申し込みます)

<https://forms.gle/3uhADoybW9okknPj6>

② 古澤秀利司祭のアドレスへ申し込み jfhide@icloud.com

③ 大阪聖愛教会への FAX 06-6771-4125



主催：聖公会生野センター30周年記念事業実行委員会

〒544-0002 大阪生野区小路3-11-19 電話 06-6754-4356 Fax06-6224-7869

e-mail nskkikuno@gmail.com

共催：日本聖公会日韓協働委員会

になったこのセミナーで、大韓聖公会から日韓の協働の証として聖ガブリエル教会の支援が提案されました。1988年の管区総会で「聖ガブリエル教会建設とガブリエル地域活動センター」(「聖公会生野センター」に正式に決まるまでの名称)の開設が決議されたのです。このプロジェクトは大阪教区が4000万円、10教区で4000万円の募金をあつめるという数値目標があった決議でした。ここに日本聖公会の大きな信仰的決断があったと思います。

年の年月を経ました。多くの方々の参加をお願いいたします。

(生野センター総主事

呉光現)



OK委員会だより 「宣教の新たな可能性を拓いてください」

いよいよ11月の教区会が迫って来ました。大阪教区と京都教区の合併についての議案が上程されます。(この原稿を書いている時点で11月のコロナの状況は不明で、教区会が無事開催されることを願うばかりです。)

ため今年は、大阪教区では各教会を主教とOK委員が巡回し説明会の場を持つ、京都教区は地域が広いため伝道区ごとに説明会を行うという活動を実施しました。

私は大阪教区の教会を磯主教と回りましたが、多くの皆さんが合併について関心を持っておられ、様々な意見を伺うことが出来ました。その中で多くあった意見や質問の一つは「合併して信徒にメリットはあるのか?」というものです。信仰生活においてメリット・デメリットを考えるのは変な気もしますが、教会の働きや信徒の皆さんの信仰生活にとって大きな意味があると思います。Q&Aでもお伝えしているように両教区の教役者の数は減少が続いています。教役者の仕事は教会の牧会以外に、教区や管区や外部の様々な委員会や組織(大阪と京都でそれぞれ約60の委員会等)、その他学校などの施設での働きがあります。大阪では15名、京都では26名ほどの教役者がそれらを

掛け持ちしています。とてもお忙しいです。当然教会での牧会のための時間やエネルギーは大きく削られます。合併によって教区の委員会等は半減しますので、教役者の負担は確実に減ります。それによって教役者が教会と信徒の皆さんに向き合う時間が増え、教会の働きを強めることが出来るのです。

もう一つ関心が高かったのは京都事件についてです。特に大阪では信徒の皆さんには情報があり伝わっており、イメージや憶測が先行しているようでした。私自身も全てを理解出来ていない訳ではありません。現在京都教区の作業チームは、長期に渡る経過を教区による二次加害という視点から正しく理解し開示するため、膨大な資料を整理し検証作業を行っています。資料の多さとコロナの影響で、11月の教区会には間に合わないようですが、期待して

います。私たちはこれを京都教区だけの問題とせず、日本聖公会全体の問題として捉え、教会という組織の中で十分に起こりうる問題であると理解し、反省しなければなら

ないと思います。大阪教区でもこれまでに様々なハラスメントはありました。決して他人ごとではないのです。両教区で用いられている「合併に向けての祈り」にあるように、主が「宣教の新たな可能性を拓いてください」

しかしこちらからの一方通行の発信では信徒の皆さんや一部の教役者の方には十分に伝わっていないのではということが懸念されました。その

お忙しいです。当然教会での牧会のための時間やエネルギーは大きく削られます。合併によって教区の委員会等は半減しますので、教役者の負担は確実に減ります。それによって教役者が教会と信徒の皆さんに向き合う時間が増え、教会の働きを強めることが出来るのです。

もう一つ関心が高かったのは京都事件についてです。特に大阪では信徒の皆さんには情報があり伝わっており、イメージや憶測が先行しているようでした。私自身も全てを理解出来ていない訳ではありません。現在京都教区の作業チームは、長期に渡る経過を教区による二次加害という視点から正しく理解し開示するため、膨大な資料を整理し検証作業を行っています。資料の多さとコロナの影響で、11月の教区会には間に合わないようですが、期待して

皆様が「明日に架ける橋」(Bridge Over Troubled Water)と言う曲を御存知でしょうか。先日BS放送でこの曲の特集がありました。ご覧になった方もあるかもしれません。サイモンとガーファンクルの1970年の大ヒット曲で、今も歌い継がれ、アメリカの黒人を中心とした教会や南アフリカの教会ではゴスペルとなり、多くの人々に愛され、歌い継がれているそうです。本当は歌を聴いてくださるのがい



羊だより

明日に架ける橋

—ブリッジチャーチとして生きる—

るように、主が「宣教の新たな展開の可能性を拓いてください」願ひ祈ります。(大阪・京都特別協働教区運営委員会委員長 太田幸彦)

り見つからないときでも
▼逆巻く流れに架かる橋のように▼この身を横たえよう▼逆巻く流れに架かる橋のように▼この身を横たえよう

苦境に立たされていく友人に向かって、無条件の愛と支援を歌う友情のすばらしさを証する曲です。サイモンとガーファンクルは、ゴスペルから大きな影響を受けたと言われています。「僕が逆巻く流れに身を横たえるから、(君はその上を踏み越えていきなさい)」というメッセージに、わたしは、主イエスのことを歌っていると思います。わたしたちのために、十字架の上に、いのちを投げ出して下さった主イエスのことをこの曲から感じました。「私が橋になるから、その上を歩

君が疲れ果て、自信を失くし▼瞳に涙が浮かぶとき▼ぼくが乾かしてあげよう いったって君の味方だから▼どんなにつらくときでも▼友だちひと

京 都 教 区

【常置委員会報告】 9/16

1. 報告事項

▼主教報告

・教区合併についての伝道区ごとの説明会が終了した。

▼特別協働教区運営委員会

・合併議案について協議した。

・ニュースレター第5号が10月下旬に発行される。

2. 協議事項

・2021年の定期教区会の開催方法について協議した。

・合併議案について協議した。

大 阪 教 区

【常置委員会報告】 9/11 第11回 定例

I. 主教報告及び諸報告

・10月6日(水) 大阪聖三一教会建替えのための起工式開催。

・10月12日(火)～14日(木) 主教会開催(北海道教区)。

・10月16日(土) 大阪聖アンデレ教会礼拝堂聖別1周年感謝礼拝。

・10月22日(金) 中日本宣教協働区協働委員会(大阪教区が幹事)。

・聖ミカエル保育園の創立50周年記念礼拝を、9月11日(土) オンラインで開催。

・教区センター土地借り主の選定について協議した。

・東舞鶴聖パウロ教会と(学)

京都聖パウロ学園シオン幼稚園が使用する教区所有の土地を、幼稚園改築の資金

借入のために担保提供することを承認した。

・現在堅信受領者数2名以下の教会について、教会のあり方などを含めて継続して協議していくこととした。

・「日元牧師による少女への性暴力事件における京都教区の二次加害事件 検証報告書」の完成が来年6月頃

【コロナ関連対応について】

・教区内の学校、保育園等で感染者が出ており身近な問題となっている。

【宣教局】キッズフェスティバルの冊子が作成された。

・大阪、北関東、東京、京都の4教区の礼拝・礼拝音楽関連委員会によるニュースレターが発行される予定。

【財政局】9月23日(木)川口基督教会で開催予定の会計委員懇談会は緊急事態宣言の状況を見る。

【総務局】11月23日(火)開催の教区会の公示を出す。

【OK運営委員会】8月3日(火) 大阪教区・京都教区合同常置委員会懇談会が京都

に延びるとの報告を受けて承認した。

(文責：常置委員会書記)

【局長会議報告】 9/22

1. 総務局報告

▼国土交通省の2021年土地保有・動態調査に回答した。

2. 宣教局報告

▼社会部部会を開催予定(10/7) 聖公会生野センター30周年連続セミナーに部員研修として参加予定

▼キッズフェスティバル2021第2号を発行した。

3. 財政局報告

▼2021年度教区経常費収支中間報告(8月31日)

4. その他報告

▼各教区財政担当者連絡協議会プレ会議(9/16)が行われた。

▼各教区「宣教担当者の集い」が(9/9～10)行われ、10月は宣教協議会2022を協議する。

5. 協議事項

▼定期教区会の開催方法等について協議した。

(文責：局長会議書記)

で開催され、合併議案の内容等について協議した。

・各教会への説明会を継続しているが、礼拝休止状況で訪問できていない教会についてオンラインでの教会委員会への参加も実施している。

II. 協議事項及び主教諮問

・今年度の常置委員会として、合併議案を教区会へ上程することを確認し承認した。OK運営委員会から出された合併議案について協議した。

・11月の教区会の準備について昨年同様とした。

・オンラインでの参加方法についても検討する。

・川口基督教教会・主教座聖堂

での動画配信についての必要機材について協議した。

・礼拝休止状況が長引いており、現在堅信受領者の定義について協議した。

・9月23日(木) 川口基督教教会で開催予定の会計委員懇談会は緊急事態宣言が継続の場合、中止とする。

・大阪聖ヨハネ教会一元化の議案は来年3月の臨時教区会に提出予定。

・11月6日(土)の教区墓地合同埋葬式に2件(計7人)の申請が出ており、承認した。

いて進みなさい。」

今もアメリカ社会に影を落とす黒人差別に苦しむ人々、人種隔離政策は一応解消されたとはいえ、今も大きな傷と

苦しみを背負わされている南アフリカの人々を励まし、

支え、希望を与えるゴスペルになっていきます。今新型コロナウイルス禍、不安な日々を送っている私たちにとっても、励ま

しや光を与えてくれる「明日に架ける橋」ではないでしょうか。

私たち聖公会は、ブリッジチャーチ(橋渡しの教会)であることを大切に歩んで来ました。新型コロナウイルス禍の下、「分断」ということばもよくさやかれます。十字架上、逆巻く流れに身を横たえて、さあ、わたしの足を踏み越えて行きなさいと、励まし導いてくださる主イエスに倣い、社会の中にあつて「橋渡しの役割」を私たちも果たしていきたいと思います。

(大阪教区主教 磯 晴久)



教会紹介 京都編

桑名エピファニー教会

江戸時代には桑名宿に「七里の渡し」があり、宮宿（名古屋市熱田区）とは木曾三川（木曾川・長良川・揖斐川）の出口の伊勢湾を渡る旧東海道唯一の海上ルートの宿場町で、桑名藩の城下町として大変賑わっていたようです。1896年に桑名でのキリスト教伝道の第一歩が東海道筋のこの地で踏み出されました。この礼拝堂は1949年に建てられたものです。月二回の地域の皆さまの「憩いの場」ともしび」は11年目を迎えました。コロナ禍で休んでおりますが、月一回で57回目の俳句教室は好評で、ネット投稿で継続しております。この交わりが主によって深められるように願っています。

(司祭 江渡^{えと} 由直^{よしなお})



大阪教区関係教役者 11月逝去者記念聖餐式

11月10日 (水) 10:30~

- 1日 司祭 ジェームズ・ウィリアムス (1920 英)
 3日 司祭 パウロ^{やまもと} 山本^{はや} 早太 (1988)
 4日 司祭 ヨハネ^{チャン} 張^{ボン} 本栄 (1966)
 宣教師 コンスタンス・メアリー・リチャードソン (1968)
 5日 司祭 パウロ^{こう} 後藤^{みつとし} 光敏 (1971)
 9日 司祭 ヨハネ^{ありちか} 有近^{やす} 康男 (1991)
 11日 司祭 ヨハネ^{ばん} 伴^{きみやす} 君保 (1956)
 12日 宣教師 ドーラ・レイチェル・ハワード (1947)
 17日 宣教師 ガートルード・E・コックス (1906 英)
 19日 司祭 ヨハネ^{そばがき} 側垣^{まさみ} 正巳 (1997)
 20日 司祭 ホレイス・ジョージ・ワレン (1950 英)
 21日 主教 ホレイス・H・プライス (1941 英)
 22日 司祭 ベルナルド^{おあな} 小穴^{ふじ} 藤雄 (1971)
 23日 司祭 北川^{きたがわ} 千代吉^{ちよきち} (1939)
 30日 宣教師 アミー・キャロライン・ボサンケット (1950 英)
 ?日 宣教師 アンナ・マリア・タプソン (1940 英)

*教役者逝去記念聖餐式は、毎月第2水曜日午前10時30分から、川口基督教会で行われます。ご関係の有無にかかわらず、どうぞ自由にご参加ください。

京都教区関係逝去教役者 11月記念聖餐式

11月17日 (水) 10:30~

- 3日 司祭 パウロ^{やまもと} 山本^{はや} 早太 (1988)
 4日 司祭 山辺^{やまべ} 久吉^{ひさきち} (1944年)
 6日 主教 ヨハネ^{やぎ} 八木^{ぜんざぶろう} 善三郎 (1966)
 9日 司祭 ヨハネ^{ありちか} 有近^{やす} 康男 (1991)
 10日 司祭 ステパノ^{いとう} 伊藤^{のぶよし} 信義 (2018)
 主教 セント・ジョージ八木^{やぎ} 成之^{じょうじ} (2016)
 17日 司祭 W.B.パーソンズ (1967)
 20日 司祭 L.A.ピートロス (1959)
 伝道師 坂口^{さかぐち} 豊^{ゆたか} (2004)
 23日 司祭 北川^{きたがわ} 千代吉^{ちよきち} (1939)
 24日 司祭 ペテロ^{わかつき} 若月^{ますみ} 麻須美 (1945)
 29日 司祭 ステパノ^{なか} 中尾^お 鐵三^{てつぞう} (1950)
 司祭 ダニエル^{おおつか} 大塚^{まさる} 勝 (2016)

*教役者逝去記念聖餐式は、毎月第3水曜日午前10時30分から、聖アグネス教会で行われます。

聖 婚

西大和聖ペテロ教会

ルチア^{むらおか} 小村^{むらおか} 岡^{けいた} 貴子^{たかこ}

逝 去 者

笠田基督教会 (8月14日)

堺聖テモテ教会 (9月14日)

京都復活教会 (9月15日)

孤野聖マリア教会 (9月20日)

聖光教会 (9月20日)

魂の平安をお祈りします

主教巡回予定 (11月)

● 大 阪

7日 大阪聖ヨハネ教会

14日 高槻聖マリア教会

21日 尼崎聖ステパノ教会

28日 聖ルシヤ教会

● 京 都

7日 八木基督教会

14日 東舞鶴聖パウロ教会

21日 高田基督教会 (堅信式)